

(4) 瀬戸内海

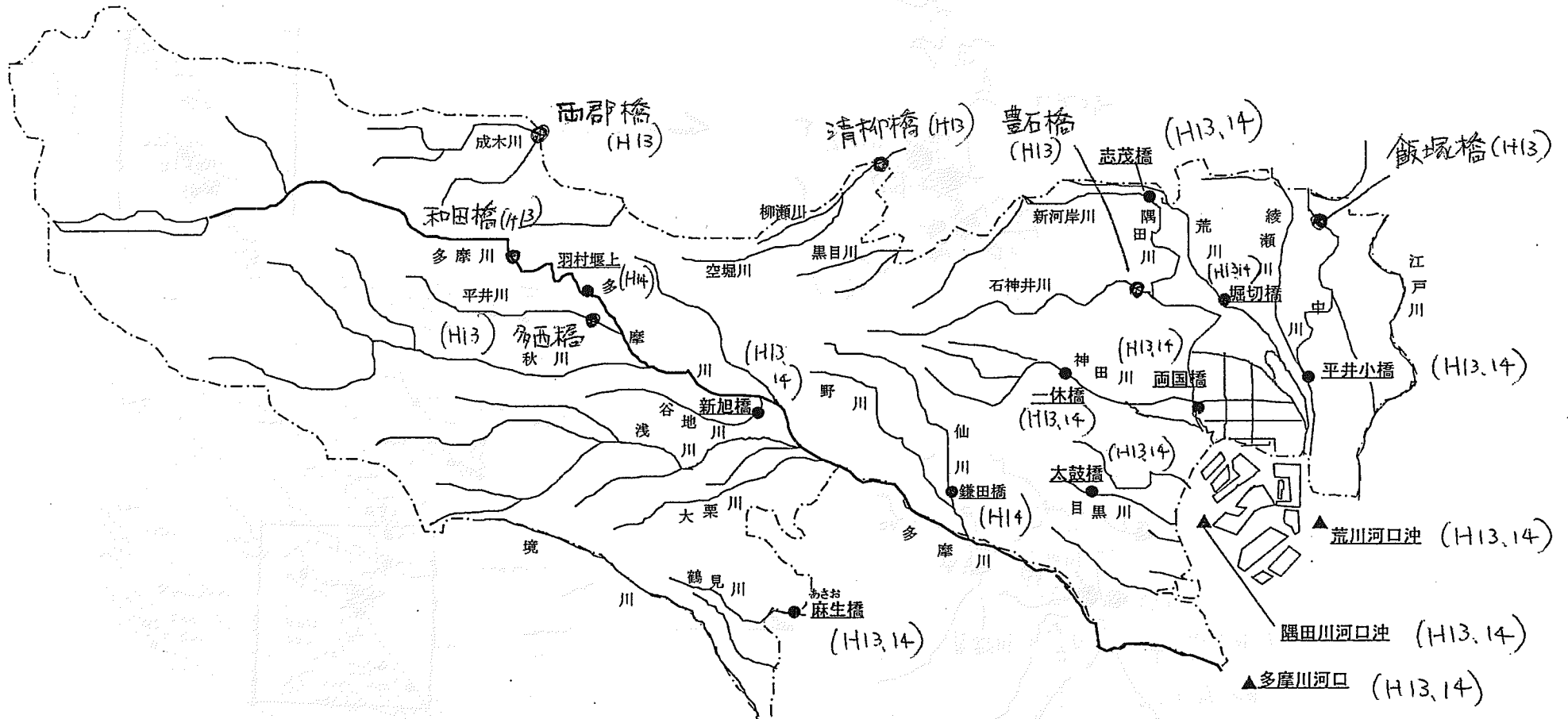
分類		農薬				フタル酸エステル類		ベンゾピレン		
年度		H14	H15			H13	H15	H12	H13	H14
河川名	調査地点名	CAT (シマジン)		NAC (カルバリル)	マラチオン	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル		ベンゾピレン		
		10月	10~11月	10~11月	10~11月	10月	10~11月	12月	10月	10月
検出下限値		0.01		0.01	0.01	0.2		0.0004		
小坂部川	巖橋	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.		0.2 (2.00)	N.D.		N.D.
高梁川	中井橋	N.D.	N.D.	N.D.	0.06 (12.00)		0.3 (3.00)	N.D.		N.D.
成羽川	神崎橋	0.07 (14.00)	N.D.	N.D.	N.D.		0.2 (2.00)	N.D.		N.D.
高梁川	下倉橋	0.06 (12.00)	N.D.	N.D.	N.D.		N.D.	N.D.		N.D.
小田川	三谷橋	0.08 (16.00)	0.03 (6.00)	0.08 (16.00)	N.D.		N.D.	N.D.		N.D.
水島地先海域	玉島港沖合	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.		N.D.	0.0020		0.0004
高梁川	一中橋					0.3 (1.00)			N.D.	
"	高梁大橋歩道橋					0.2 (0.67)			N.D.	
成羽川	神崎橋					N.D.			N.D.	
高梁川	下倉橋					N.D.			N.D.	
小田川	福松橋					N.D.			N.D.	
水島地先	玉島港沖合					0.3			0.0006	
平均希釈率		(14.00)	(6.00)	(16.00)	(12.00)	(0.83)	(2.33)			
平均希釈率 (物質別)		(12.00)		(16.00)	(12.00)	(1.73)				
平均希釈率 (瀬戸内海平均)		(7.70)								

単位 (μg / L)

- 注1) 「平成12~14年度 環境ホルモン等実態調査(岡山県)より作成
 注2) 上記調査のうち、いずれかの水域において検出があったもののみを表に記載
 注3) 平均希釈率は、河川で明確な検出があったもののみを用いて算出
 注4) ()内の値は、調査河川の河口沖における濃度を1としたときの調査地点の濃度比(河口沖における希釈倍率に相当)
 注5) N.D=検出下限値の1/2として計算

(5) 東京湾、伊勢湾、尾鷲湾及び瀬戸内海における平均希釈倍率

海域名	東京湾	伊勢湾	尾鷲湾	瀬戸内海
希釈倍率（海域別）	4.10	2.00	4.02	7.70
平均希釈倍率	4.46			



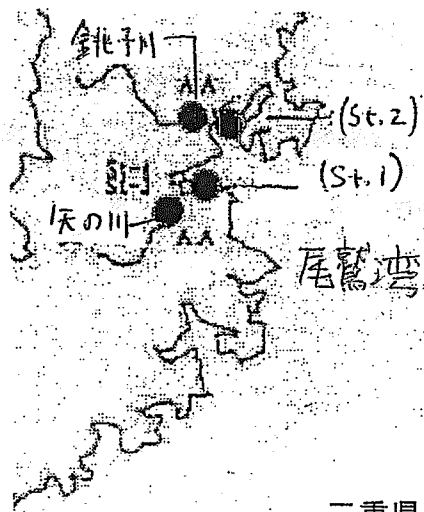
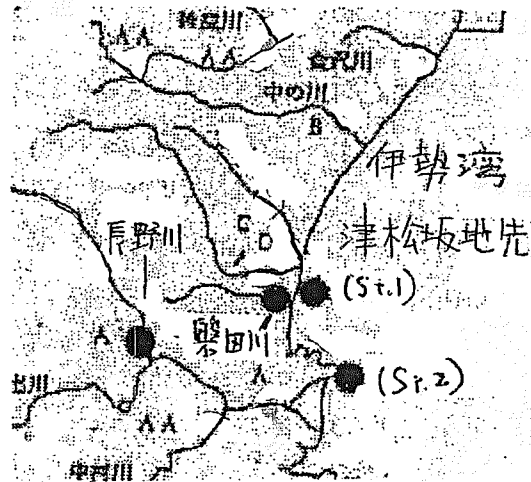
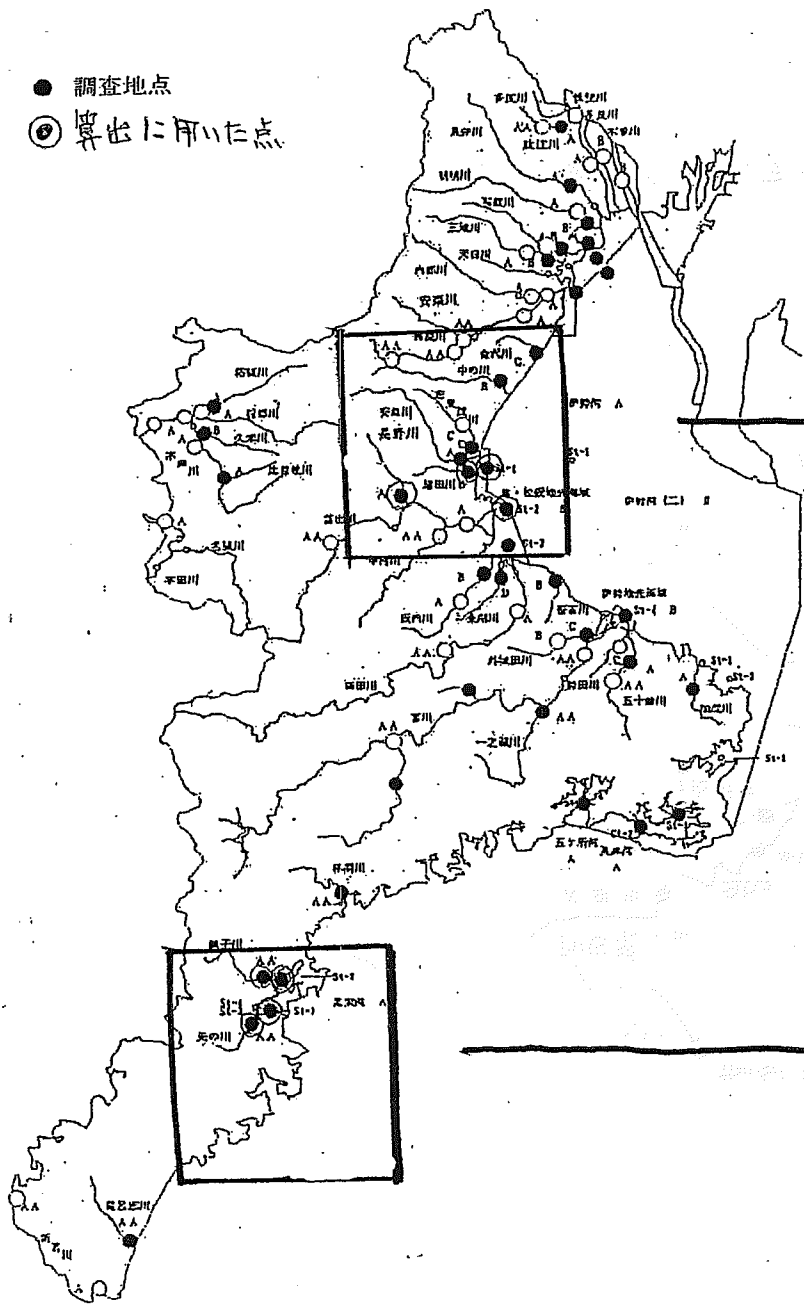
内分泌かく乱化学物質調査地点（東京都）

調査地点（水質・底質）
 ● 河川10地点
 ▲ 内湾3地点

東京都HPより作成

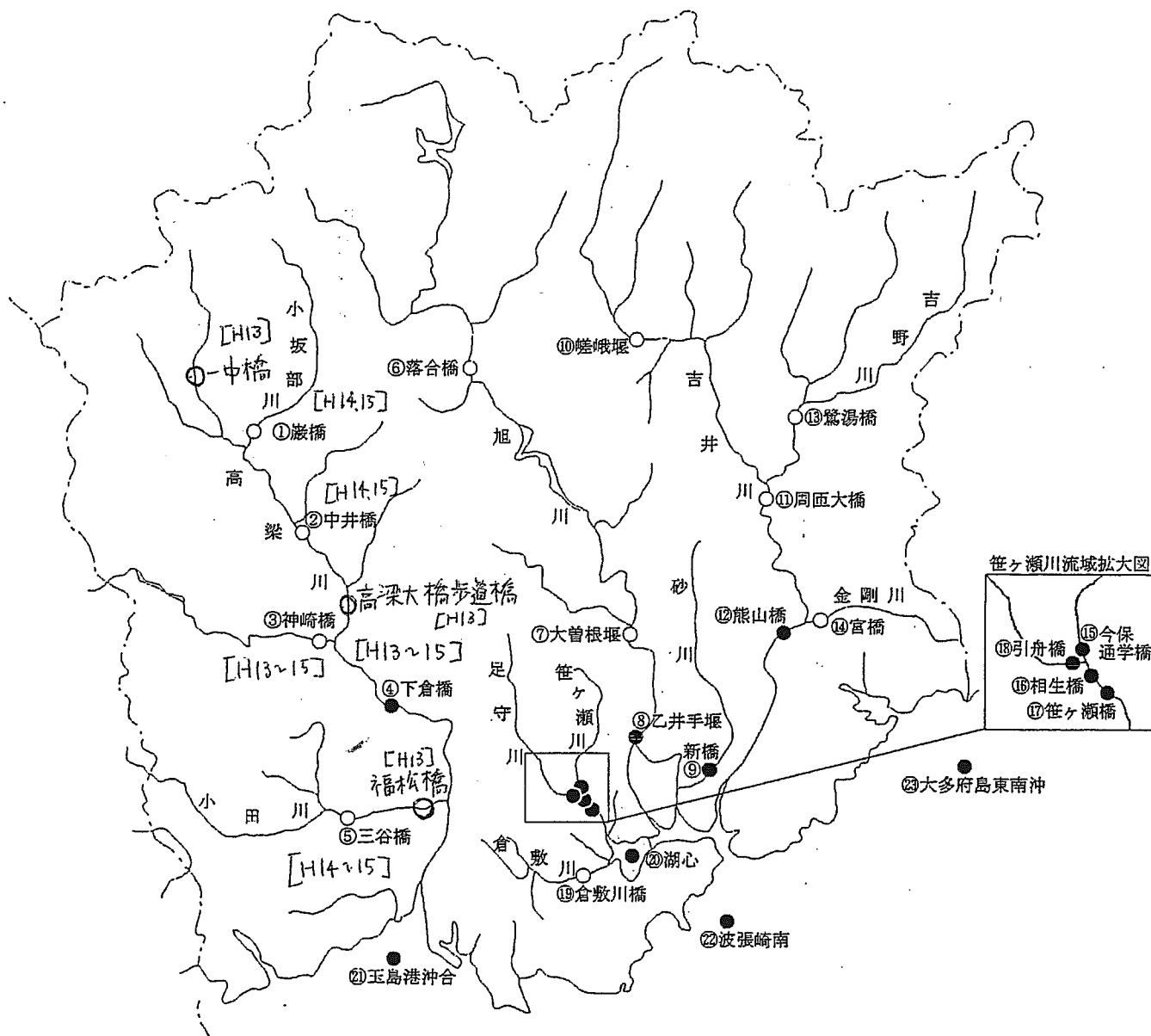
環境ホルモン水質調査地点（三重県）

- 調査地点
- ◎ 算出に用いた点



三重県HPより作成

環境ホルモン等実態調査地点（岡山県）



備考 ○の地点は水質を測定、●の地点は水質及び底質を測定

①小坂部川	: 巖橋	⑨砂川	: 新橋	⑰笹ヶ瀬川	: 笹ヶ瀬橋
②高梁川	: 中井橋	⑩吉井川上流	: 嵯峨堰	⑱倉敷川	: 倉敷川橋
③成羽川	: 神崎橋	⑪吉井川中流	: 周匝大橋	⑲児島湖	: 湖心
④高梁川	: 下倉橋	⑫吉井川下流	: 熊山橋	㉑水島地先海域	: 玉島港沖合
⑤小田川	: 三谷橋	⑬吉野川	: 鷺湯橋	㉒児島湾	: 波張崎南
⑥旭川	: 落合橋	⑭金剛川	: 宮橋	㉒播磨灘北西部	: 大多府島東南沖
⑦旭川	: 大曾根堰	⑮笹ヶ瀬川	: 今保通学橋		
⑧旭川	: 乙井手堰	⑯笹ヶ瀬川	: 相生橋		

岡山県HPより作成